

第4回 高梁市地域防災力向上委員会

令和3年3月24日（水）

15：30～

WEB（オンライン形式）

目 次

- (1) 令和2年度の取組状況の報告について
- (2) 自主防災組織の設立支援等モデル地区
に対する支援等について
- (3) 今後のスケジュールについて

令和2年度の取組状況について

1. 令和2年7月31日(前回報告)までの取組状況

【先行事業】

＜自主防災組織の設立支援等モデル地区の選定＞ 5月27日

・3地区を選定

①あたご地域自主防災会(成羽町下原地区)

②成美コミュニティ推進協議会(成羽町成羽地区、羽山地区)

③仁賀協議会(川上町仁賀地区) ※仁賀地域自主防災会設立(7月21日)

＜高梁市避難所運営マニュアル策定＞ 6月2日

＜高梁市感染症対策避難所マニュアル策定＞ 6月3日

＜高梁市大規模水害対策訓練の開催＞ 6月7日

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、関係機関との現地での連携対応や情報共有は中止し、電話・メール等による情報共有のみとした。

・避難所は18か所開設し、コロナ対策を実施した開設運営手順を確認したが、1か所のみ当該避難所のある地域の自主防災組織に参加いただき、コロナ対策に対応した手順を実際に住民に対して実施し、確認した。

【その他事業】

＜岡山県令和2年度地区防災計画作成モデル事業に有漢地区選定＞ 4月20日

＜内閣府の避難判断・訓練支援等市町村災害対応統合システム開発のモデル自治体に高梁市選定＞ 5月28日

＜LINEを活用した防災訓練の実施＞ 6月2日

2. 令和2年8月1日以降の取組状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、予定していた事業は実施できなかつたり、大幅に遅れることとなった。

＜自主防災組織の設立支援等モデル地区事業＞ 8月～3月

○成美コミュニティ推進協議会で吉原委員（高梁青年会議所）を講師として、「防災勉強会（マイ・タイムライン作成講習）」を開催 8月11日

○三村委員長、氏原副委員長がモデル地区の現地視察を実施 9月10日



○仁賀地域自主防災会、成美コミュニティ推進協議会で「自主防災組織モデル地区意見聴取懇談会」を開催
12月6日（午前：仁賀地域自主防災会、午後：成美コミュニティ推進協議会）

・三村委員長、氏原副委員長をコーディネーターとして、ワークショップ形式で、地域課題の洗い出しと整理を実施

※ここまでの取組については、別紙「自主防災組織設立支援モデル地区事業取り組み」にまとめていますので、ご確認ください。

【令和3年】

○仁賀地域自主防災会で「第2回自主防災組織モデル地区意見聴取懇談会」を開催 3月7日

・三村委員長、氏原副委員長をコーディネーターとして、ワークショップ形式で、前回出された地域課題のうち最も意見が多かった「避難」について、具体的な準備や役割分担について検討を実施

●成美コミュニティ推進協議会で「第2回自主防災組織モデル地区意見聴取懇談会」を開催 3月28日予定

<備中町コミュニティ連絡協議会 防災勉強会> 9月～10月

- 第1回 「最近の災害発生状況と防災市民アンケート調査結果について」 9月15日
- 第2回 「マイ・タイムライン講習会について」 10月2日 講師:吉原委員(高梁青年会議所)
- 第3回 「自主防災組織の必要性と役割について」 10月13日 講師:小川委員(備中県民局地域づくり推進課)

<ヤフー株式会社との「災害に係る情報発信等に関する協定」締結> 9月16日

- ・「Yahoo!防災速報アプリ」を利用し、市からの緊急情報の発信等を行います。
- ・市ホームページの災害時のアクセス負荷の軽減を目的として、市ホームページのキャッシュサイトをヤフーサービス上に掲載し、一般の閲覧に供します。

<マイ・タイムライン～逃げキッド～への土砂災害の内容追加> 9月30日

- ・「マイ・タイムライン～逃げキッド～」は河川の水位が上昇する時の避難などの自分がとるべき防災行動を学習する教材であるが、本市では土砂災害の危険がある地域に居住されている方も多く、土砂災害から身を守る行動も考えたいとの要望もあったため、岡山県土木部防災砂防課に指導・協力をいただき、土砂災害時の防災行動をあわせて考えることができるように、逃げキッドを改良しました。

<市町村防災力強化出前研修> 11月15日

- ・一般財団法人消防防災科学センターの3名の方を講師として、市内自主防災組織10団体34名の方が参加し、6班に分かれ、避難所HUG(避難所運営ゲーム)を実施。

<防災士・自主防災組織等連絡会(仮称)の設立に向けた意見交換会> 11月25日

- ・連絡会の設立に向けた第一歩として、市から連絡会設立の趣旨説明と神田委員(日本防災士会岡山県支部長)の防災講演を実施。
- ・市内の防災士と自主防災組織等の代表者54名が参加し、参加の皆様からは連絡会設立に賛同をいただきました。
- ※市内の防災士及び自主防災組織等に対して12月下旬から参加意向確認を実施し、防災士26名、自主防災組織等27団体からの参加希望が出されている。
- ※令和3年5月の防災士・自主防災組織等連絡会(仮称)の設立に向けて、第1回準備会役員会を2月9日に開催し、第2回を3月30日に開催予定

【令和3年】

＜避難行動要支援者名簿管理システム導入＞ 1月22日

- ・市内の避難行動要支援者を管理するためのシステムを導入。
 - ・現在、名簿作成に向け関係各課において、対象者データを作成中。
- ※令和3年度中に対象者名簿を作成し、関係団体へ配布予定

＜小中学校での防災学習の実施＞ 3月9日 福地小学校

- ・児童全員(5名)で段ボールベッドの組み立てやパーティションのなかで寝てみたりすることで、避難所での生活を疑似体験をしてもらい、避難所で必要なものについて児童自身で考えてもらいました。
 - ・吉原委員(高梁青年会議所)を講師として「マイ・タイムライン作成講習」を実施し、児童それぞれの家族の状況など踏まえた防災行動を作成し、全員に発表してもらいました。
- ※来年度は、5～6月に巨瀬小学校、有漢西小学校、有漢東小学校、高梁北中学校で防災学習を実施予定のほか、市内全ての小中学校での防災学習の実施を推進していく。

＜河川監視カメラの追加設置＞ 3月末

- ・河川監視カメラ4台を設置。
- ①新幡見橋【津川町今津】 ②手川橋【川上町領家】 ③沈下橋【成羽町布寄】 ④田原橋【備中町東油野】
- ・昨年度設置した河川監視カメラ7台と吉備ケーブルテレビの河川監視カメラ1台と併せて全12台の映像をホームページ及び吉備ケーブルテレビ、川の水位情報、Yahooで公開。

※未実施の取組

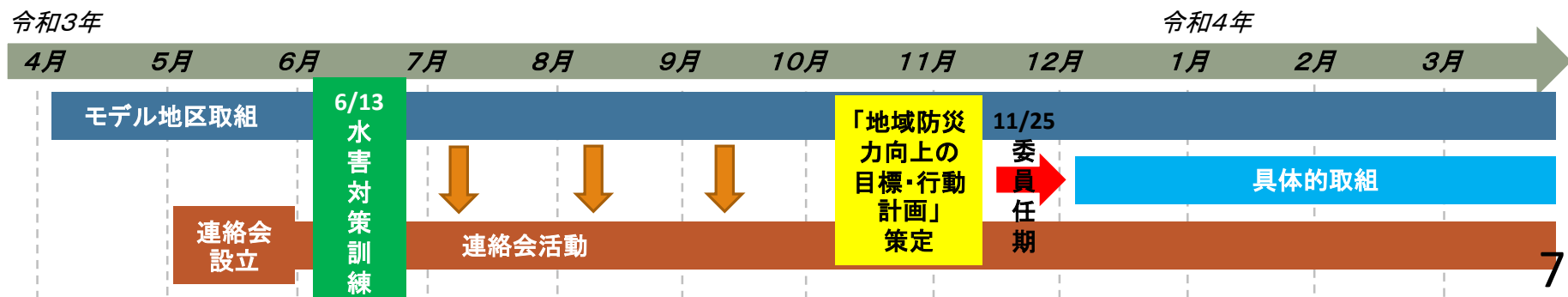
＜マイ・タイムライン講習会＞ ※10月～12月に実施予定であった。

- ・市民向けと職員向けの講習会を西部地区で開催予定であった。
- (第1回は令和元年10月30日に職員向けを市役所、11月1日に市民向けを高梁文化会館で開催)
- ※成美コミュニティ推進協議会(33名参加)、備中町コミュニティ連絡協議会(19名参加)といった規模を縮小した形式での市民向けは実施

3. 「高梁市地域防災力向上の目標・行動計画」の策定期間の変更について

前回の地域防災力向上委員会では、令和3年2月に第4回地域防災力向上委員会を開催し、「地域防災力向上の目標・行動計画」を策定予定であったが、マイ・タイムライン講習会、モデル地区の取組、防災士・自主防災組織等連絡会設立等が新型コロナウイルスの影響で予定どおり実施できず、各種取組を進めることで抽出できる課題やその課題に対する市民（自助）・地域（共助）・市（公助）の具体的な取組内容の把握・整理ができていない状況であり、「地域防災力向上の目標・行動計画」への反映ができていないため、「地域防災力向上の目標・行動計画」の策定については、**令和3年出水期後の策定とする。**

「高梁市地域防災力向上の目標・行動計画」の策定スケジュール



1. 「自主防災組織の設立支援等モデル地区」の目的等について

【目的】

- ・自主防災組織の設立・活動を支援するとともに、優良事例として広くPRすることによって、市内の自主防災組織の設立促進を図る。

【取組のゴール】

- ・各地区において、地域特性を反映し、全ての住民が理解し活動できる「地区防災計画」及び「防災マップ」を作成する。
- ・作成までの過程をマニュアル化し、他地域の作成モデルとする。

2. 「自主防災組織の設立支援等モデル地区」の取組を進めるなかで見えてきた支援・連携の必要性について

【第1回自主防災組織意見聴取懇談会での主な地域課題】 成美コミュニティ推進協議会、仁賀地域自主防災会

- ・避難経路の確認
- ・高齢者や要支援者の避難を誰が支援するのか（支援者の確保）
- ・要支援者の把握
- ・避難所の運営方法
- ・リーダー不足、リーダー育成
- ・他の地域や組織との連携
- ・自然災害に対する知識不足（土砂災害の兆候の把握）
- ・情報の確認方法
- …など

【第2回自主防災組織意見聴取懇談会での「避難」の課題に対する具体的な取組】 仁賀地域自主防災会

※「共助」を中心とした具体的な取組について検討

○町内会単位での避難所の開設及び避難情報の伝達

1. 自主防災会から町内会長へ電話し、各集会所を避難所として開設
2. 町内会長から町内住民へ電話(町内連絡網)で避難の連絡



この取組から発生した課題

- ①町内会長へ連絡がとれない
- ②電話が不通
- ③昼間、若者がいない(※第1回の課題と共通)



この課題の解決シナリオ

- ①町内連絡先を3人程度の登録制とし、福祉委員を加える。
- ②町内各戸を歩いて回る。消防団へ各戸確認を依頼する。
- ③近所、消防団、民生委員での早めの声掛け、避難誘導を行う。



- 「自助」や「共助」だけでは解決することが困難なことが多数存在する。
- 市が支援・連携するだけでは解決することが困難。
- 市内の他組織(消防団、民生委員など)や専門家の支援・連携が必要



モデル地区の各地域課題を解決をしていくには、専門的な知識・技術を持った地域防災力向上委員の方々の支援・連携が必要

各地域・団体との調整や取組等の進捗状況により、実施時期や内容は変更する可能性があるため、現時点での予定

＜自主防災組織等設立支援等モデル地区の取組＞ 4月～

- ・あたご地域自主防災会において、意見聴取懇談会を実施し、地域課題の抽出を行うとともに、成美コミュニティ推進協議会と仁賀地域自主防災会では、地域課題を解決するために必要な具体的な取組等について、検討を行う。
- ・課題抽出と課題解決の具体的な取組を整理し、令和3年度中の地区防災計画策定を目指す。

＜防災士・自主防災組織連絡会(仮称)の設立及び活動＞ 5月～

- ・5月中に連絡会の設立、役員選任、実施事業の決定

＜小中学校での防災学習の実施＞ 5月～ ※他の小中学校にも継続して実施依頼

- ・巨瀬小学校 5月下旬～6月上旬 内容は未定
- ・有漢東小学校 6月22日 マイ・タイムライン講習会
- ・有漢西小学校 6月25日 マイ・タイムライン講習会
- ・高梁北中学校 6月29日 マイ・タイムライン講習会

＜高梁市大規模水害対策訓練の開催＞ 6月13日

- ・迅速かつ正確な情報共有を図るため、タブレット端末による岡山県防災システム等を用いた内部情報共有を行う。
- ・19カ所の避難所を開設し、全ての避難所で感染症対策を踏まえた、避難者を受け入れての避難所開設及び運営の訓練を行う。
- ・昨年度は実施しなかった現地での関係機関との連携対応や情報共有を実施する。

＜第5回高梁市地域防災力向上委員会の開催＞ 7月16日

- ・「地域防災力向上の目標・行動計画」(案)の意見交換

＜第6回高梁市地域防災力向上委員会の開催＞ 10月19日

- ・「地域防災力向上の目標・行動計画」の策定